

# サキホコレ学園

Fチームが行く!



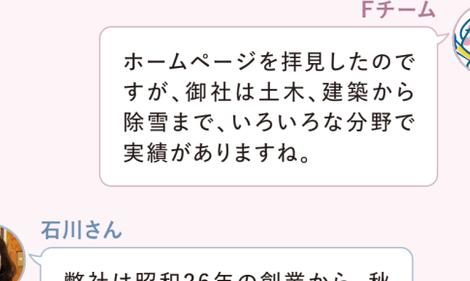
サキホコレ学園による 秋田暮らしインタビュー

仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。学園のメンバーが人生の『パイセン』に、仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いてみました!

## 伊藤工業株式会社

今回サキホコレ学園Fチームがインタビューするのは、私たちが通う国際教養大学の改修工事にも携わっている伊藤工業の方々。現場に立つ建築部の大島さんと、本社から総務部の石川さん、鎌田さんが、取材当時まさに改修中だった大学の図書館に来てくれました。どんな話が聞けるか楽しみです!

今回のパイセン



大島さん

Fチーム

本日はよろしくお願いします。



大島さん・石川さん・鎌田さん

よろしくお願いします。

Fチーム

ホームページを拝見したのですが、御社は土木、建築から除雪まで、いろいろな分野で実績がありますね。



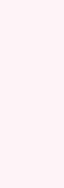
石川さん

弊社は昭和26年の創業から、秋田の発展に向けた環境開発のお手伝いをしています。幹幹事業は土木、建築ですが、グループ全体では不動産管理、秋田スギの製材、木材製品製造、カフェやゴルフ練習場の運営なども行っています。



Fチーム

業務の幅がとても広いですね!従業員数は82名とのことですが、そのうち女性は何名ですか?



石川さん

13名です。数は少ないですが、副社長、副部長、課長、係長3名の計6名が女性で、管理職についている割合では女性が男性を上回っているんですよ。



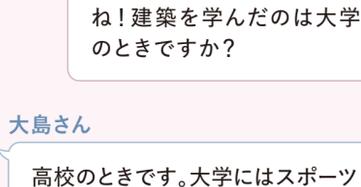
Fチーム

建設業界はまだまだ男社会だと思いましたが、世の中は着実に変わり始めていますね。会社は仕事と育児・家庭との両立をどのように支援してくれますか?



鎌田さん

男女を問わず結婚休暇、産休、育休、看護休暇などが取得しやすくなっているほか、女性特有の健康事情に関する休暇もあります。加えて出産時や子どもの小学校入学時に祝金が支給される制度もあります。



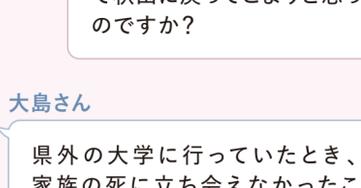
Fチーム

手厚いサポートがあるのは心強いですね。大島さんは、どういう理由で伊藤工業で働こうと思ったのですか?



大島さん

私は学生の頃からラグビーをやっている、今も女子ラグビーチームに所属しているのですが、競技を続けることができ、かつ競校で習ったことで一番興味をもった建築の仕事ができること。その二つの条件を満たす会社があったんです。



Fチーム

ラグビーをやっているんですね!建築を学んだのは大学生のときですか?



大島さん

高校のときです。大学にはスポーツ推薦で入ったので、建築とは違う分野を学んでいました。



Fチーム

入ったのは地元の大学ですか?それとも県外ですか?



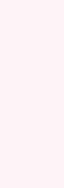
大島さん

県外です。



Fチーム

卒業後の選択肢はいろいろあったと思うのですが、どうして秋田に戻ってこようと思ったのですか?



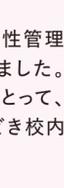
大島さん

県外の大学に行っていたとき、家族の死に立ち会えなかったことがすごく悔しくて。もう二度と同じ思いはしたくなかったので、実家に戻り、秋田でラグビーを続けながら働く方法を探することにしました。



Fチーム

そうだったんですね。お仕事にはもう慣れましたか?



大島さん

建築を勉強していた頃からだいぶ時間がたっているので、記憶を呼び起こしながら頑張っています。建築業は形に残る仕事なので、ものができあがっていく過程も含めてやりがいを感じています。



Fチーム

会社は女性活躍に積極的に取り組んでいるということでしたが、現場はどうでしょう。



大島さん

更衣室やトイレなど、徐々に女性への対応が進んでいると感じます。これまで男社会と言われてきた建築業ですが、女性の感性を生かせる部分も多いと思うので、業界全体で女性活躍の推進が進み、男女ともに気持ち良く仕事に取り組める環境が広がってほしいですね。



Fチーム

最後に、先輩から私たちの世代に向けたメッセージがほしいです!



大島さん

そうですね……若い頃はいろいろなことに挑戦するのがいいと思います。人は失敗して試行錯誤を重ね、そこで初めて成長していけるはずなので、自分にとって未知の領域にも臆せず飛び込み、今を全力で楽しんでください。



Fチーム

ありがとうございました!



まだまだ男社会というイメージの強い業界にあって、女性管理職が續々誕生している会社が存在していたことに驚きました。実際に働いている人に話を聞いてみないと分からないことって、いろいろありますね。大島さんのお仕事、これからときどき校内の現場に足を運んでのぞかせてもらいますね!